

## 県立有田中央高等学校清水分校 学校運営協議会

平成30年度 第3回（平成31年 2月15日 開催）

出席者：委員6名（2名欠席）

### 【議題】

- ①本年度の清水分校の活動・成果の報告
- ②地域ケア研修会（2／1）での3年生発表の紹介（ビデオ）
- ③意見交換

### 【協議した内容】

- ①清水分校が行った地域での活動や進路・学習の成果を報告した。
- ②清水の各地区から集まった約百名の前で、3年生が「高校生が考える地域活性化」を発表した際の様子をビデオで紹介した。
- ③清水分校を活性化するには清水地区の活性化が不可欠であることを確認して、意見交換した。

#### （主な意見）

- 分校は毎年卒業生の進路をきちんとしてくれる。今年も全員希望どおりだし、中には公務員もいるし、十分に評価できる。
- 小・中学校で不登校の生徒が、分校に登校できているのは素晴らしいことで、分校の少人数ならではの行き届いた教育の成果だ。  
⇒分校の良さを地域外にもっと発信すべきで、吉備・金屋・有田市などの中学校を訪問して直接アピールする必要がある。
- 清水地区の生徒増は見込めないので、地域外から生徒を呼ぶべきだが、交通手段や寄宿舍はどうなのか。  
⇒有田川町がバス定期の半額補助をしてくれる。また、寄宿舍は無理だが、町営住宅の利用などを検討していく必要がある。
- 有田中央高校本校と分校との関係はどうなのか。  
⇒毎年本校で3年生が介護実習をしているが、それ以外は特に交流はできていない。今後は交流の機会を増やすことで、分校の存在をアピールしていきたい。

## 【学校の具体的な取り組み】

### ●平成30年度清水分校の活動・成果

#### ①卒業生（5名）の進路

県内企業：3名、自衛隊：1名、有田川町職員：1名

#### ②各種検定の合格者

実用英語技能検定 準2級：1名、3級：1名

ビジネス文書実務検定 3級：2名

情報処理検定 3級：3名

日本漢字能力検定 3級：1名

### ●2月1日「地域ケア研修会」での3年生の発表内容

#### 【テーマ】「清水地区を活性化するにはどうしたらいいのか？」

清水の「良さ」と「不便さ」について地域でアンケートした結果から考えた。

「良さ」…豊かな自然、静かな環境、美しい景観、優しい人柄

「不便さ」…人口減少、交通手段、職場・病院などの不足

活性化のプランを考えるにあたり、①既存の施設を利用する、

②清水の魅力をアピールする、の2点を条件とした。

#### 〈プラン1〉「Let's トライ・清水っ子」

小学生10名ほどで1泊2日の共同生活をする。宿泊は「コテージ」を利用し、食事は自炊する。活動は、畑仕事を中心にして収穫物で食事を作り、温泉や天体観測なども行う。

#### 〈プラン2〉「COME COME (コメコメ) 清水」

年間で4回、米作りを体験する。それとともに、四季それぞれの清水の良さを味わってもらおう。

春：田植え・あらぎ島散策 夏：草取り・川遊び

秋：稲刈り・サイクリング（紅葉） 冬：精米・ボタン鍋

